

令和7年12月26日

小千谷市地域公共交通協議会委員 各位

小千谷市地域公共交通協議会
会長 山口 良信

令和7年度 第4回小千谷市地域公共交通協議会 書面決議について

日頃から市政の運営に格別の御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、平成29年4月1日から運行を開始した「循環バス」につきまして、国の地域公共交通確保維持改善事業として小千谷市地域内フィーダー系統確保維持計画の認定を受けて運行しておりました。

このたび、令和7年度小千谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（循環バス）の事業評価につきまして、書面により協議させていただきたく、資料を送付させていただきます。

また、地域間幹線系統についても制度の運用上、事業評価を実施する対象に追加されたことから、本年度からは地域内フィーダー系統と併せて地域間幹線系統の事業評価についても協議させていただきます。

つきましては、別紙【書面表決書】を令和8年1月14日（水）までに同封の返信用封筒により御返送くださいますようお願いいたします。（FAXやメールも可）

なお、期日までに御回答がない場合は、本協議に対し異議がなかったものとして取り扱いますので、御了承くださいますようお願いいたします。

記

○協議事項

- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）（地域間幹線系統・地域内フィーダー系統の実績に対する評価：令和6年10月～令和7年9月）

・回答期限

令和8年1月14日（水）

事務局 小千谷市にぎわい交流課 樋口・石上
〒947-0028 小千谷市城内1丁目13番20号
電話 0258-83-3512 FAX 0258-83-0871
メール kouryu@city.ojiya.niigata.jp

事務局：小千谷市にぎわい交流課交流推進係 あて

令和7年度 第4回小千谷市地域公共交通協議会 書面表決書

令和 年 月 日

所 属 _____

役職・氏名 _____

※いずれかに○をつけてください。

議 案	承認します	一部修正を提案します	承認しません
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）（地域間幹線系統・地域内フィーダー系統の実績に対する評価：令和6年10月～令和7年9月）			

※「一部修正を提案します」「承認しません」に○をつけた場合は、理由をご記入ください。

※その他、ご意見等がある場合はご記入ください。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和8年1月 日

協議会名： 小千谷市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
越後交通株式会社 南越後観光バス株式会社	長岡～十日町 長岡～小千谷① 長岡～小千谷② 長岡～小千谷③ 小千谷～十日町 小千谷～小国 小千谷～小出 (県単路線1路線) (循環線(フィーダー系統)1路線)	<ul style="list-style-type: none"> 運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。しかし、小千谷～小出線については、ダイヤ改正を検討したが、実施はしなかった。 1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<ul style="list-style-type: none"> ・運行系統数 目標値: 9路線 実績値: 9路線 ・利用者数 目標値: 385,000人以上 実績値: 300,550人 ・収支 目標値: 平均46.2%以上 実績値: 39.7% ・財政負担額 目標値: 36,000千円以内 実績値: 53,038千円 <p>運行系統数を維持することができたが、利用者数、収支、財政負担額については目標を達成することができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。

越後交通株式会社	長岡～十日町	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：71,900人 実績値：58,775人 ・収支 R5～R6：37.9% R6～R7：38.1% ・財政負担額 R5～R6：6,729千円 R6～R7：5,894千円 <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。
					B		
越後交通株式会社	長岡～小千谷①	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：29,300人 実績値：26,960人 ・収支 R5～R6：47.5% R6～R7：50.3% ・財政負担額 R5～R6：475千円 R6～R7：276千円 <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。
					B		

越後交通株式会社	長岡～小千谷②	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：152,500人 実績値：106,996人 ・収支 R5～R6：44.3% R6～R7：45.4% ・財政負担額 R5～R6：2,961千円 R6～R7：2,509千円 <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。
					A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：47,900人 実績値：50,720人 ・収支 R5～R6：43.9% R6～R7：45.3% ・財政負担額 R5～R6：1,206千円 R6～R7：1,026千円 <p>利用者数が目標値に達成し、収支率も上がり、財政負担額も減少した。</p>	
越後交通株式会社	長岡～小千谷③	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：47,900人 実績値：50,720人 ・収支 R5～R6：43.9% R6～R7：45.3% ・財政負担額 R5～R6：1,206千円 R6～R7：1,026千円 <p>利用者数が目標値に達成し、収支率も上がり、財政負担額も減少した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。
					A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：47,900人 実績値：50,720人 ・収支 R5～R6：43.9% R6～R7：45.3% ・財政負担額 R5～R6：1,206千円 R6～R7：1,026千円 <p>利用者数が目標値に達成し、収支率も上がり、財政負担額も減少した。</p>	

越後交通株式会社	小千谷～十日町	<ul style="list-style-type: none"> ・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：40,700人 実績値：37,668人 ・収支 R5～R6：28.3% R6～R7：30.4% ・財政負担額 R5～R6：7,438千円 R6～R7：6,580千円 <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。
					B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 目標値：20,300人 実績値：19,431人 ・収支 R5～R6：38.5% R6～R7：39.4% ・財政負担額 R5～R6：1,268千円 R6～R7：1,221千円 <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	

南越後観光バス株式会社	小千谷～小出	・ダイヤ改正を検討したが、実施しなかった。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C ・利用者数 目標値：28,000人 実績値：19,919人 ・収支 R5～R6：31.9% R6～R7：29.1% ・財政負担額 R5～R6：1,883千円 R6～R7：1,949千円 利用者数は目標値を下回り、収支率も下がり、財政負担額も増加した。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。
-------------	--------	-----------------------	---	---------------------------	---	---

事業者名	越後交通株式会社
------	----------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R7年度)

協議会名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R6年度比 収入増減額	対R6年度比 費用増減額	R6年度 収支率	R7年度 収支率
						計画	取組実績					
小千谷市地域公共交通協議会	25	長岡～十日町	長岡駅前	小千谷 十日町病院	十日町車庫前	【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑩1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大 【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R6年度比収支率92.16% 【取組実績】 R7年4月に競合路線との時刻調整を行い利便性の向上に努めた。		▲ 172,478	▲ 9,079,146	36.71%	39.99%
小千谷市地域公共交通協議会	26	長岡～小千谷①	長岡駅前	新国道	小千谷インターチェンジ	【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑩1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大 【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R6年度比収支率107.19% 【取組実績】 R7年4月に競合路線を減便し効率化を行った。		▲ 383,396	▲ 1,000,709	52.48%	53.21%
小千谷市地域公共交通協議会	27	長岡～小千谷② (急行) 長岡駅前	片貝・小糸田	小千谷車庫前		【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑩1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大 【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R6年度比収支率99.58% 【取組実績】 R7年4月に競合路線を減便し効率化を行った。		▲ 3,337,323	▲ 2,448,801	53.52%	50.50%
小千谷市地域公共交通協議会	28	長岡～小千谷③ (急行) 長岡駅前	片貝・坪野	小千谷車庫前		【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑩1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大 【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R6年度比収支率108.90% 【取組実績】 R7年4月に競合路線との時刻調整を行い利便性の向上に努めた。		1,990,752	▲ 38,911	44.17%	51.88%
小千谷市地域公共交通協議会	38	小千谷～十日町	小千谷車庫前	千手	十日町車庫前	【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑩1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大 【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R6年度比収支率101.86% 【取組実績】 R7年4月に競合路線との時刻調整を行い利便性の向上に努めた。		▲ 1,253,710	▲ 542,815	36.08%	34.33%
小千谷市地域公共交通協議会	39	小千谷～小国	小千谷車庫前	七日町	小国車庫前	【取組内容】 ⑤競合路線との時刻調整 ⑩1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による輸送人員の拡大 【効果目標】 R5年度収支率101%の増加 【実施主体:越後交通】	【取組効果】 対R6年度比収支率87.19% 【取組実績】 R7年4月に競合路線を減便し効率化を行った。		100,112	788,141	46.01%	44.54%
						小学生を対象に夏休み期間の割引を実施し、併せて中学生以上への休日バスの利用促進を、チラシの作成・HPの改善を通して実施した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者の増加・収益の改善には至らなかった。						

【記載要領】

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

事業者名	南越後観光バス株式会社
------	-------------

地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績(R7年度)

協議会等名	申請番号	運行系統名	起点	主な経由地	終点	地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組		備考	対R6年度比 収入増減額	対R6年度比 費用増減額	R6年度 収支率	R7年度 収支率
						計画	取組実績					
小千谷市地域公共交通協議会	41	小千谷～小出	小千谷総合病院	川口	小出営業所前	<p>【取組内容及び実施時期】 令和7年2月までにダイヤ改正検討 (令和7年4月実施予定)</p> <p>【実施主体】 南越後観光バス(株)</p> <p>【効果目標】 運送費用の削減、関係路線と連携し輸送人員増加に努め、1%以上の収支改善を目標とする</p>	<p>【取組実績】 ダイヤ改正を検討したが実施しなかった</p> <p>【取組効果】 対前年度4,291人利用者が減少し、収支率についても3.34pt悪化した</p>		-713,467	-185,610	22.98%	19.64%

[記載要領]

- この書類は、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む。以下同じ。)の策定主体である都道府県協議会等と協議の上、作成すること。
- 各欄は、補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)に係る内容を運行系統ごとに記載すること。
- 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
- 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載すること。
- 計画欄には、生活交通確保維持改善計画(地域間幹線系統確保維持計画を含む)に記載した補助対象期間に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項を、取組実績には、計画に対応した補助対象期間の実績をそれぞれ記載すること。
- 備考欄には、今後の対応の方向性等特記すべき事項について記載すること。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和8年1月 日

協議会名： 小千谷市地域公共交通協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
越後交通株式会社	<p>循環バス 令和6年10月～令和7年9月 3便×2(内外回り)=計6便/日</p> <p>地域間幹線系統の他、市内バス路線の全てが停車する本町中央バス停で接続して運行</p>	<p>収支率向上のために利用促進の取組みを実施</p> <p>【事業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常収支率15%以上 ・月間平均利用者数1,200人以上 ・公共交通に係る市の財政負担額12,000千円 <p>【利用促進の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通マップの作成全戸配布 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常収支率 目標値:15%以上 実績値:14%(目標未達成) ・月間平均利用者数 目標値:1,200人以上 実績値:996人(目標未達成) ・公共交通に係る市の財政負担額 目標値:12,000千円 実績値:10,534千円(目標達成) <p>公共交通マップの全戸配布など収支率向上のために利用促進の取組みを実施したが、利用者の減少傾向が続く中で、十分な利用促進に繋がらず、経常収支率、月間平均利用者数の項目において目標を達成できなかった。なお、令和7年9月で循環バスは廃止となり、代替としてAIオンデマンド交通を運行開始した。</p>	<p>利用者の減少に伴い循環バスを廃止したほか、高齢者等のバス停への移動困難に対応するため、令和7年10月よりAIオンデマンド交通の運行を開始した。今後も引き続き、地域懇談会における住民説明、観光・商工会等との連携・協力を通じて、公共交通の利用促進に取り組む。</p>

循環バス主要停留所別乗降者数
集計期間:令和6年10月～令和7年9月

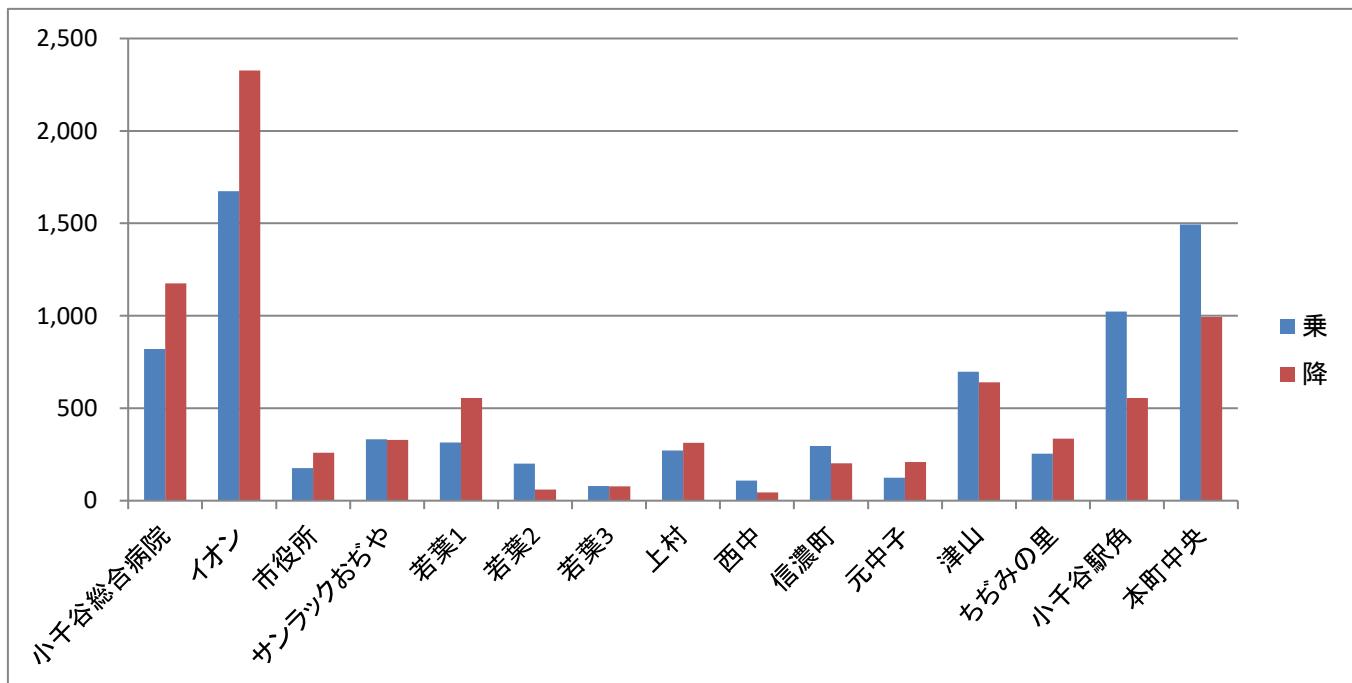
R7.12
小千谷市にぎわい交流課

(人)

集計項目	R6.10～R7.9 ①		1ヵ月平均 (①÷12ヵ月)			1日平均 (①÷365日)		1便平均 (日平均÷6便)	
	停留所	乗	降	乗	降	乗降	乗	降	乗
小千谷総合病院	821	1,176	68	98	166	2.2	3.2	0.37	0.54
イオン	1,674	2,326	139	193	332	4.6	6.4	0.76	1.06
市役所	177	259	14	21	35	0.5	0.7	0.08	0.12
サンラックおぢや	332	329	27	27	54	0.9	0.9	0.15	0.15
若葉1	314	555	26	46	72	0.9	1.5	0.14	0.25
若葉2	200	60	16	5	21	0.5	0.2	0.09	0.03
若葉3	79	77	6	6	12	0.2	0.2	0.04	0.04
上村	272	313	22	26	48	0.7	0.9	0.12	0.14
西中	108	45	9	3	12	0.3	0.1	0.05	0.02
信濃町	296	202	24	16	40	0.8	0.6	0.14	0.09
元中子	125	209	10	17	27	0.3	0.6	0.06	0.10
津山	697	641	58	53	111	1.9	1.8	0.32	0.29
ちぢみの里	254	335	21	27	48	0.7	0.9	0.12	0.15
小千谷駅角	1,023	555	85	46	131	2.8	1.5	0.47	0.25
本町中央	1,494	994	124	82	206	4.1	2.7	0.68	0.45
計	7,866	8,076							
②乗降平均		7,971							
利用者数(※) ②×1.5	11,957		996		32.8		5.46		

※利用者数:停留所33のうち上記15ヵ所で調査した乗降数から算出した利用者数×1.5(+0.5が残り18ヵ所分)

R6.10～R7.9月主要バス停乗降者数



※数値:越後交通(株)月間報告を集計

循環バス利用者数前年度比較

■利用者数 (人)

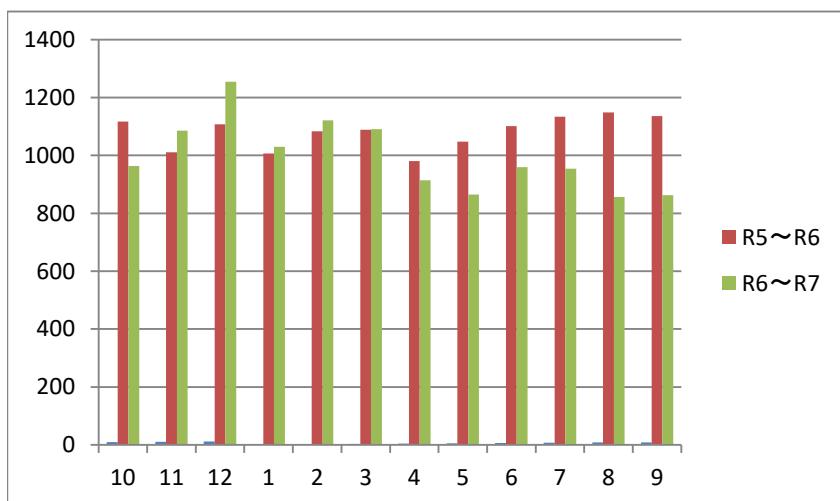
	月別利用者数		1便平均利用者数	
	R5～R6	R6～R7	R5～R6	R6～R7
10	1,117	964	4.80	5.18
11	1,011	1,085	4.49	6.03
12	1,108	1,255	4.76	6.75
1	1,007	1,030	4.33	5.54
2	1,083	1,121	5.16	6.67
3	1,088	1,091	4.68	5.86
4	980	914	4.36	5.08
5	1,048	865	4.51	4.65
6	1,102	959	4.90	5.33
7	1,134	954	4.88	5.13
8	1,148	857	4.94	4.60
9	1,136	863	5.05	4.79
計	12,961	11,957	4.74	5.47

【運行便数】

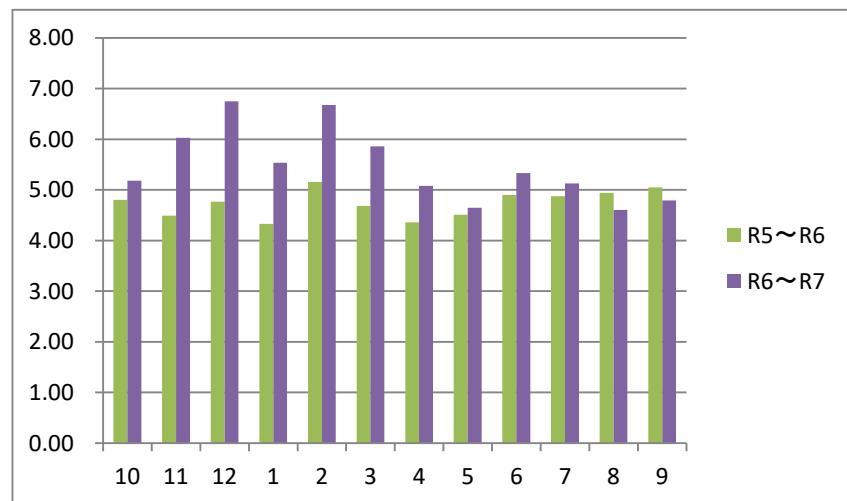
〈R6.10～R7.9〉

3便×内外回り=6便/日

■月別利用者



■1便平均利用者



令和8年1月8日

小千谷市地域公共交通協議会委員 各位

小千谷市地域公共交通協議会
会長 山口 良信

令和7年度 第4回小千谷市地域公共交通協議会 資料の追加について

日頃から市政の運営に格別のご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、このたび第4回小千谷市地域公共交通協議会について、書面協議に係る資料をお送りさせていただきましたが、別紙のとおり資料の追加がございます。お手数をおかけしますが、ご確認のほどお願い申し上げます。

今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

・追加資料：地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

事業評価について、概要や事業評価の流れ、事業評価の対象となる事業等についての資料となります。

また、評価欄にA, B, Cの記載がありますが、それぞれどのような基準で評価をしたかについては、事業評価の方法に記載しましたのでご確認ください。

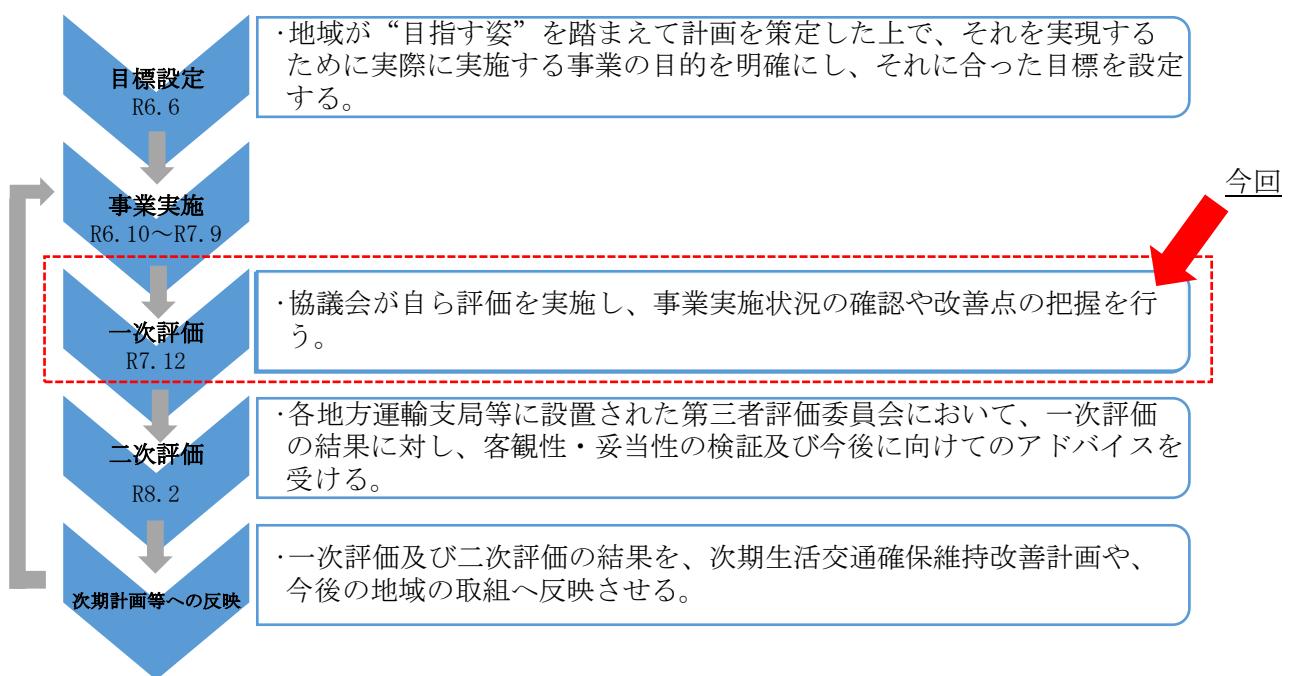
事務局 小千谷市にぎわい交流課 樋口・石上
〒947-0028 小千谷市城内1丁目13番20号
電話 0258-83-3512 FAX 0258-83-0871
メール kouryu@city.ojiya.niigata.jp

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

1) 概要

国の「地域公共交通確保維持改善事業」を活用する事業については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱、地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき、協議会において事業の実施状況や目標達成状況などの評価を行うこととされている。

2) 事業評価の流れ



3) 事業評価の対象となる事業

① 令和7年度事業 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

〈配布資料〉

- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）
評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
 - ・地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R7年度） 事業者名：越後交通（株）
 - ・地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組実績（R7年度） 事業者名：南越後鶴光バス（株）

② 令和7年度事業 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

(附布資料)

- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）（案）
評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
 - ・循環バス主要停留所別乗降者数
 - ・循環バス利用者数前年度比較

4) 事業評価の方法

計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A, B, Cの3段階で評価する。

事業実施の適切性

- A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
- B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
- C 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

目標・効果達成状況

- A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した（する見込み）
- B 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）
- C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

5) その他

- ・路線毎に事業評価を行う必要があるため、特に一事業者内の路線毎の記載内容が重複している場合があります。